

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第79回）に係る面談
2. 日時：令和2年3月9日（月） 15時00分～17時00分
3. 場所：原子力規制庁9階会議室
4. 出席者

原子力規制委員会

伴委員

原子力規制庁

櫻田原子力規制技監

長官官房 金子審議官

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、林田管理官補佐、佐藤係長

地震・津波審査部門

岸野主任安全審査官

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー 小野CDO 他17名

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

福島研究開発部門 担当者 3名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第79回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

- 放射性物質分析施設の設置について
- 東京電力福島第一原子力発電所における長期保守管理計画の策定について
- 2019年豪雨時における建屋流入量について
- 多核種除去設備等処理水の全ベータ値と主要7核種合計値とのかい離調査結果について
- 1/2号機共用排気筒近傍のSGTS配管の撤去に係る検討状況について
- 3号機及び4号機原子炉建屋の耐震性評価について
- 東京電力福島第一原子力発電所の中期的リスクの低減目標マップ（以下「リスクマップ」という。）を踏まえた検討指示事項への対応状況について

○原子力規制委員会及び原子力規制庁から、以下についてコメントした。

【放射性物質分析施設の設置について】

- 放射性物質分析・研究施設第2棟については、廃炉作業全体の中での位置付け、現時点で決まっている事項及び今後検討が必要な事項について整理した上で、検討会において説明すること。その際は、現在の対応状況と今後のスケジュール

ルも示すこと。

【東京電力福島第一原子力発電所における長期保守管理計画の策定について】

- 監視機能に係る具体的な例を示すこと。
- リスクマップにおいて掲げている、建屋の劣化対策との関係について、考え方を説明すること。
- 長期保守管理計画の対象とする設備の範囲が明確に分かるよう、資料を工夫すること。

【2019年豪雨時における建屋流入量について】

- 次回以降の検討会において、1/2号機廃棄物処理建屋の屋根補修及び今回の評価から予測される流入箇所の止水に係る計画を示すこと。

【多核種除去設備等処理水の全ベータ値と主要7核種合計値とのかい離調査結果について】

- 正確な議論を実施するため、測定値の誤差についても説明すること。

【1/2号機共用排気筒近傍のSGTS配管の撤去に係る検討状況について】

- 2019年11月28日の法令報告事象（1/2号機排気筒ドレンサンプルピットにおける核燃料物質等の管理区域内での漏えい）について、対応状況を説明すること。

【3号機及び4号機原子炉建屋の耐震性評価について】

- 耐震性評価において用いたモデルに関して、剛性ゼロとした部材やがれき等の扱い等、モデル中における仮定や設定条件についても明確に説明すること。

【リスクマップを踏まえた検討指示事項への対応状況について】

- 2020年3月のリスクマップ改定を踏まえて、今後の当該マップによる指摘事項への対応状況の示し方について整理すること。

○東京電力から、コメントについて検討の上、検討会に向けて対応が必要なものについては、適切に対応する旨回答があった。

6. 資料

- 放射性物質分析施設の設置について
- 福島第一原子力発電所 構内設備等の長期保守管理計画の策定に向けた検討状況について
- 2019年豪雨時における汚染水発生量（建屋流入量）について
- 多核種除去設備等処理水の全ベータ値と主要7核種合計値とのかい離調査結果について
- 1/2号機SGTS配管撤去に向けた現場調査の実施について
- 福島第一原子力発電所 3号機, 4号機原子炉建屋の耐震性評価について
- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップを踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）